

基礎表Y(その1－4)

項目番号	入	計	転	計算式・転記式等	転記先様式		Type	
							整数部	小数部
#0207	●				—	—		
#0208	●				—	—		
#0209		●		#0207-#0208-#0210-#0211	—	—		
#0210	●				—	—		
#0211	●				—	—		
#0212	●				—	—		
#0216		●		#0207-#0210	様3-1	—		
#0217		●		#0208+#0212	—	—		
#2107		●		#0207	—	—		
#2108		●		#0208	—	—		
#2109		●		#0209	—	—		
#2110		●		#0210	—	—		
#2111		●		#0211	—	—		
#2112		●		#0212	Y3	—		
#2116		●		#0216	Y3	様3-1		
#2117		●		#0217	Y3	—		

基礎表Y(その1－4)

チェック名	チェック内容	左辺式	右辺式	結果式
調整後療養の給付費	#2116 > 0	#2116	0	IF 左辺 > 右辺 THEN "○" ELSE "×"
調整前療養の給付費	#0216 > 0	#0216	0	IF 左辺 > 右辺 THEN "○" ELSE "×"

# □基礎表Y（その1－4）項目説明

## ○注意事項

未就学児までを対象とする医療費助成については、「「ニッポン一億総活躍プラン」に基づく子ども医療費助成に係る国保の減額調整措置に関する検討結果について」（平成28年12月22日保国発1222第1号厚生労働省保険局国民健康保険課長通知）で示したとおり、平成30年度より国保の減額調整措置は行わない。

※平成30年度における調整交付金の算定対象となる平成29年12月診療分（平成30年1月請求分）から適用とする。  
地方単独事業に係る分は全て一般分として計上すること。

1 療養の給付費（令和6年12月～令和7年11月分）の各欄は次により入力すること。

- ・「事業名」の欄は、一般分のみである。
- ・「費用額」の欄は、一般分に係る令和6年12月1日から令和7年11月30日までの支給に係る費用額。
- ・「保険者負担分」の欄は、一般分に係る令和6年12月1日から令和7年11月30日までの費用額に係る保険者負担額。（災害等により、一部負担金の減免を行った場合は、その額を除く。）
- ・「他法負担分」の「他法優先」の各欄は、一般分に係る令和6年12月1日から令和7年11月30日までの費用額のうち、費用額について公費負担医療が国保に優先して行われた場合は、その負担額。
- ・「他法負担分」の「国保優先」の各欄は、一般分に係る令和6年12月1日から令和7年11月30日までの費用額のうち、費用額の一部負担金相当部分について、各法または都道府県若しくは、市町村の条例等により公費負担医療が行われた場合は、その負担額。
- ・「高額療養費及び高額介護合算療養費」の欄は、事業の区分ごとに令和7年1月1日から同年12月31日までに支給した高額療養費（高額療養費特別支給金として支給した額を除く。）及び高額介護合算療養費の額。
- ・「補助対象医療費」の欄は、一般分に係る費用額から他方優先を控除した額。
- ・「補助対象給付費」の欄は、保険者負担相当分を高額療養費相当分を合算した額。

2 この様式は、療養の給付に係る額の基礎表であり地方単独事業を実施していない市町村についても作成すること。